

山行報告書

作成:2008年11月16日

愛知岳連 岡崎山岳会

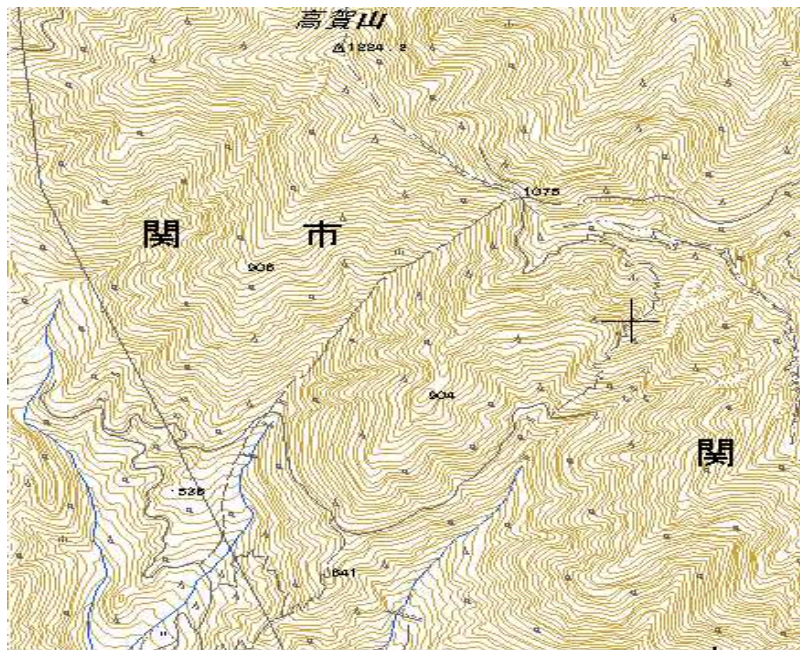
山名[山域]	高賀山(1224m) [奥美濃]	目的[方法]	紅葉鑑賞
期間	2008年11月9日(日)	形態	日帰りハイキング
参加人数	4人		

行動記録:

11/9(日) 曇天、ほとんど風なし

岡崎市民病院 PKG(600) ==0:10== 岡崎IC -(615) ==1:00== 美濃IC(710) = 0:30 高賀神社 = 0:10 = 高賀の森 P(7:50,815) -0:55-不動岩(920,925) --0:40-御坂峠(1005) --0:30 高賀山(10:3511:00) - 0:20 - 御坂峠(1120) - 1:15 - 不動岩屋 (11:45) - 高賀の森 P (12:4513:00) =0:05=高賀神社 - 円空記念館(13:40) ==0:30==ゆとりの湯 (14:1015:00) = 0:20 = 美濃IC (15:20) = 岡崎IC = 岡崎市民病院 PKG(16:15)

概念図:



日誌

日帰り紅葉が楽しめる山として高賀山は名が知れているようである。天気は曇りがち夜明け前で少々寒い。岡崎ICから高速に入る。1時間ほどで美濃ICを出る。美濃の山は近いことを実感。(以前蕪山に出かけたがその途中から右折すると高賀山になる)板取川をさかのぼり、川を渡り、石の大鳥居をくぐり支流の高賀川に沿う山里の道を、最奥にある高賀神社まで緩やかに登っていく。狭い林道を登ると高賀の森Pに着く。公園北よりの遊歩道を登り、登山道に入る。岩がごろごろした緩斜面を登ると、水の音が聞こえてくる。沢は伏流水となりその上をジグザグに登る。紅葉が美しく、このポイントが一番美しい。落ち葉のせいで時々道を見失う。やがて二段重ねになった巨岩が現れる。ここは、円空上人がこもって仏さんを刻んだ場所であったと、あとから記念館の方にうかがった。雨露をしのげる空間がある。岩屋から登山道は右に折れ、御坂峠までずっと登りが続く。御坂峠に出ると、林道が下に見え、止まっている車があり興ざめである。しかし、広がる山々は紅葉で美しい色をなしている。高賀山へは左を取り、雑木林の切り開きの道を登る。1100メートル付近はもう紅葉は過ぎている。20分ほど歩くと高賀山頂上に出る。頂上は切り開かれ、遠く白山が雪を頂き、見える。御岳が雲の間に見え隠れする。

じっとしていると寒い。昼食をとる。頂上は10人ほどの中高年でにぎわう。帰路は、同じ道を下山。高賀の森Pに戻り、降り返ると今登った山の紅葉がとても美しく見られた。

その後、高賀神社、円空記念館に寄り、ゆとりの湯(600円)に寄り帰る。5時前に帰宅でき、美濃の山は手軽でよいと感じた。

感想

紅葉シーズンであったため車の渋滞を心配したが、美濃でも手前であるため全く影響なかった。高賀山は麓から見ると、とても美しい紅葉が眺められる。美濃の山が身近に感じられた。